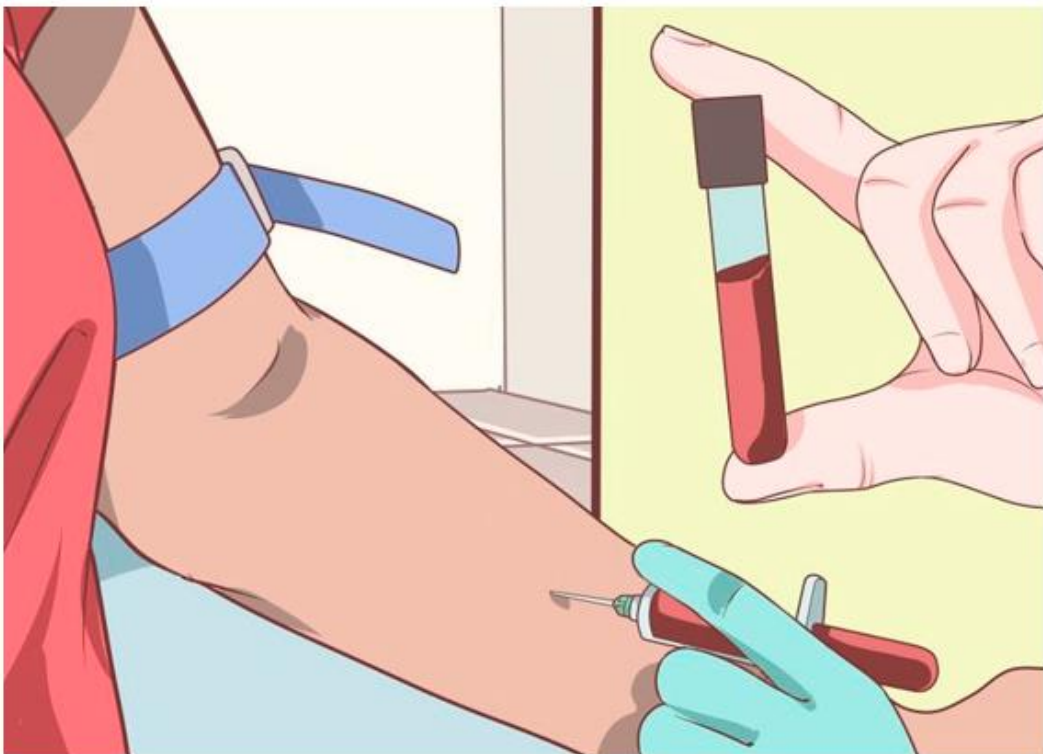


ABC検診

ABC検診とは、**胃がん**になる**危険度**を、
わずかな**血液**で簡単に判定する方法です。



1. 胃がんになりやすい指標

●ピロリ菌感染の有無と

●萎縮性胃炎の程度（ペプシノーゲン検査）
を調べます。

2. 胃がんに対する危険度判定

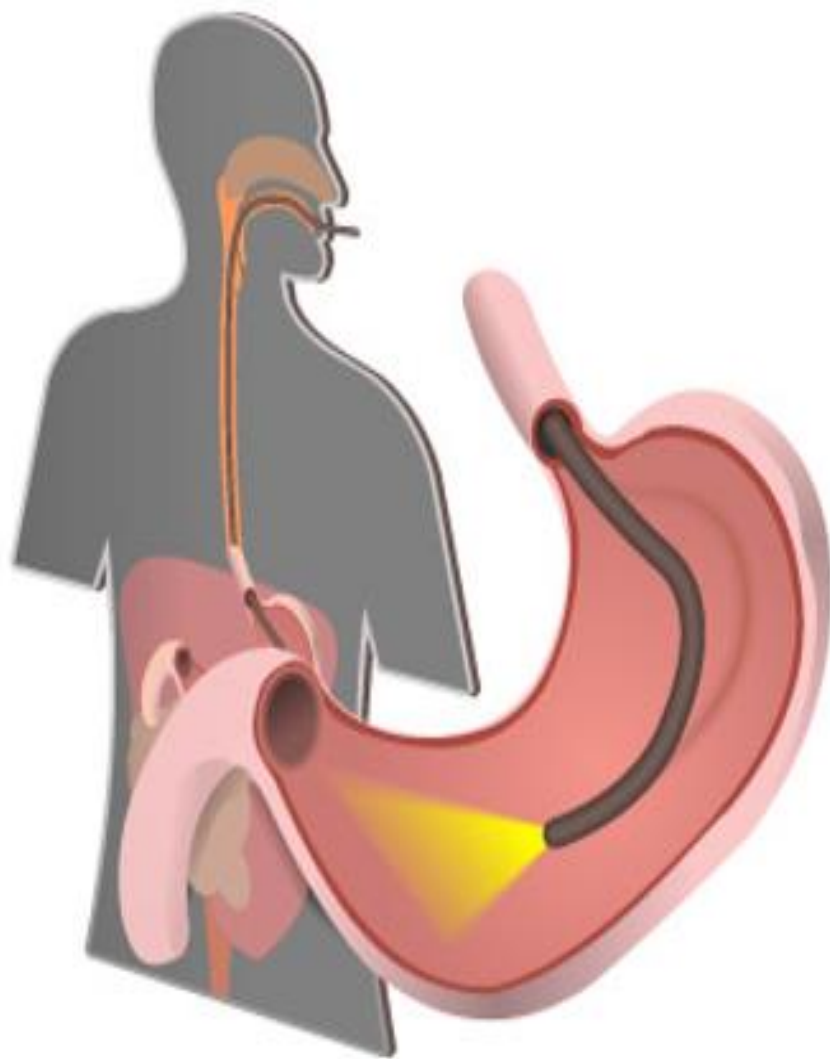
A, B, C, Dの4群に分けます。

表1: ABC検診 –危険度分類とその対応

| 危険度別分類 | A群 | B群 | C群 | D群 |
|---------------|-------|-----------|---------|-----------|
| ヘリコクターピロリ抗体検査 | 陰性 | 陽性 | 陽性 | 陰性 |
| ペプシノーゲン検査 | 陰性 | 陰性 | 陽性 | 陽性 |
| 胃がんの危険度 | 低 | | | 高 |
| 1年間の胃がん発生率* | ほぼ0人 | 1,000人に1人 | 400人に1人 | 80人に1人 |
| 危険度別分類に基づく行動 | | | | |
| 除菌治療 | 不要 | 必要 | 必要 | 別法で陽性なら必要 |
| 内視鏡検査 | 一度は必要 | 定期的に必要な | 定期的に必要な | 定期的に必要な |

*前北隆雄らの報告より(Helicobacter Research 2011; 15:409-14.)

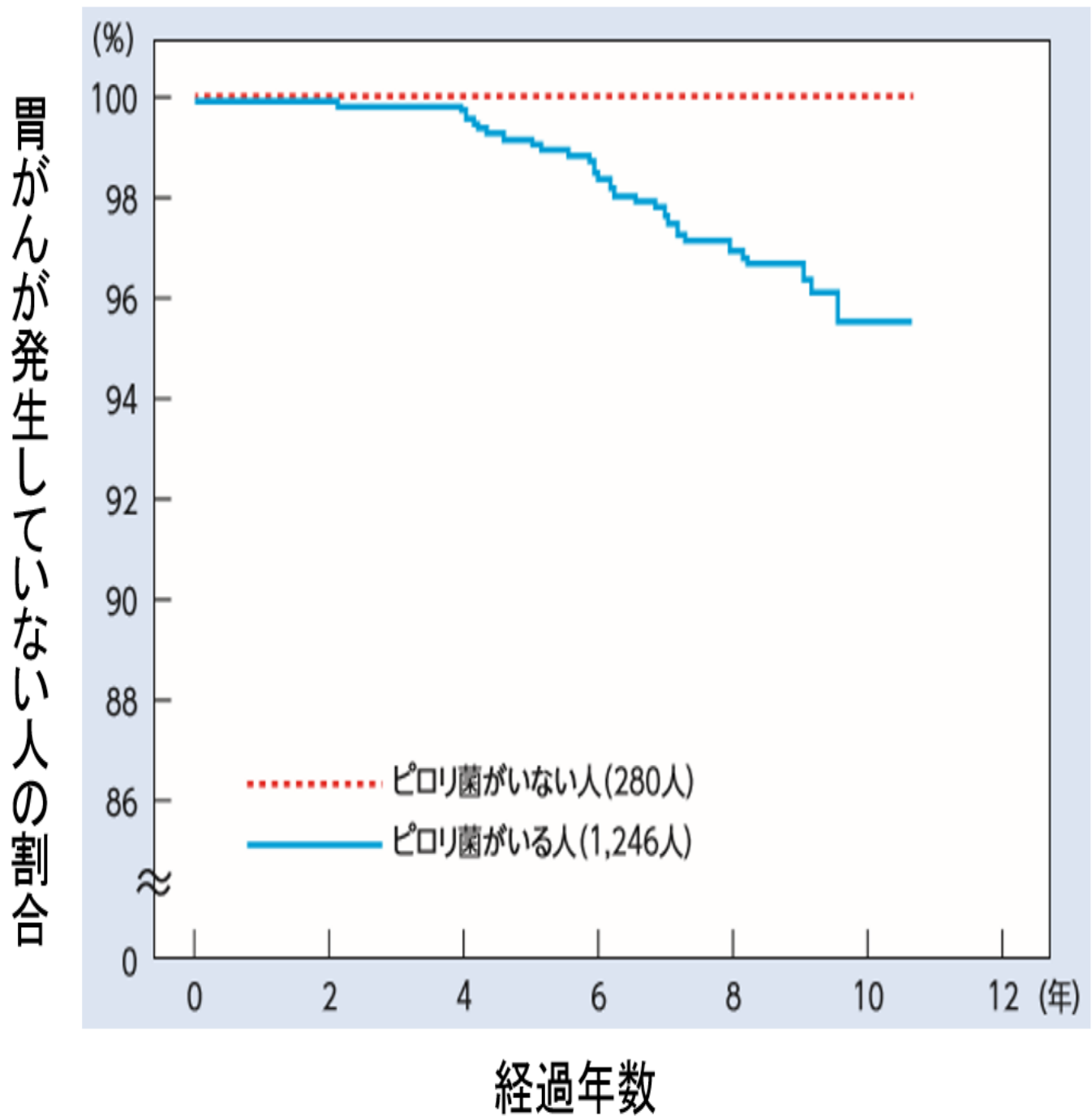
ABC検診でB、C、D群に分類された人は、**胃がん**のリスクを考慮して、**胃カメラ**を受ける必要があります。



◎ **ピロリ菌**に感染していると、**胃がん**になりやすいことが明らかになっています。



ピロリ菌がいる人といない人の比較



出典 順天堂大学 がん治療センターニューズレター 第20号
順天堂大学 消化器内科 准教授 北條麻里子先生の記事より引用

◎ **胃がん**の多くは、萎縮した胃粘膜、すなわち**萎縮性胃炎**から発生します。
ペプシノーゲン検査は、**萎縮性胃炎**の程度を調べる検査法です。

